

綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画

～綾の照葉樹林プロジェクト～

令和6年度 事業報告書



綾の照葉樹林とサクラ

綾の照葉樹林プロジェクト連携会議

九州森林管理局・宮崎県・綾町

(公財) 日本自然保護協会・(一社) てるはの森の会

4月～3月

どんぐり蒔き付け



照葉樹林の復元

「復元手法の検討」の中でどんぐりの蒔き付けを行いました(国)
 令和5年度から試行的に取り組みを開始した、照葉樹林復元のためのどんぐり苗の育苗について、令和6年度も引き続き綾小・中学校の協力を得ながら、管理・育成を行っております。
 また、綾中学校においては、令和6年度の一年生を対象に新たなどんぐりの蒔き付けを行い、生徒により管理・育成されています。

8月1日

植生保護柵の設置



シカ被害対策のための植生保護柵を設置しました(国)

照葉樹林復元を目的とした試行的な取り組みとして、間伐箇所(2044と、と1林小班)において、シカ被害対策のための植生保護柵を設置しました。
 また、併せて間伐前後における植生モニタリング調査を行うとともに、今後も継続した調査を実施し経過を観察していきます。

11月～3月

獣害防除作業



県有林造成事業(獣害防除)を行いました!(県)

25世紀の森に植栽されたカヤをシカやウサギの食害から守るため、獣類が嫌がる匂いの薬剤(忌避剤)をカヤの幹に塗って獣害予防を行いました。
 山の食べ物が不足する冬場(11月～3月)に実施し、散布は年2回で、1回目と2回目の散布期間を1ヶ月以上空けています。

2月26日

ボランティア林床調査



調査・研究

ボランティア林床植生調査を実施しました!(N J & T & 町)

2025年2月26日学生グループである「緋熊と黒潮」のメンバーを中心とした25名が参加し、川中神社手前の防塵柵内外プロットの調査を実施しました。6m程度の幅(2伐)の列状間伐では林床に光が届かないこと、ニホンジカの採食が継続しているため、林内を明るくしシカ柵等による対策が必要であることがわかりました

4月～3月

照葉樹林ガイド



環境教育

照葉樹林ボランティアガイドを実施しました!(T)

令和4年の台風で、綾照葉大吊橋遊歩道は通行止めになりました。現在ガイドは、大吊り橋復旧と川中自然公園イチガシ巨木までのコースを組み合わせる形で実施中です。川中自然公園の道は平たん歩きやすく、好評です。
 照葉樹林ボランティアガイドは、8組46名の方を案内しました。

4月～3月

地域づくりワーキンググループ



森と共生した地域づくり

「おとなの山学校」ツアーを行いました!(T & 町)

綾町上畑自治公民館を中心に進めている「大人の山学校」ツアーを開催しました。参加費5,000円、2時間ほどの里山散策の後、昔の猟師飯を味わう里山暮らし体験ツアーです。
 一般ツアー1回、スタディーツアー2回を開催し52名の方を案内しました。
 損保ジャパン(SAVEジャパンプロジェクト)の助成を受け、学生料金の補助やガイドマニュアルの充実、ガイドグッズの整備等を行っています。

4月～3月

綾ユネスコエコパーク活動



綾ユネスコエコパーク関連の活動を報告します!(町)

綾ユネスコエコパークエリアの核心地域と緩衝地域が、綾の照葉樹林プロジェクトエリアにあたることから、綾町ではユネスコエコパーク関連事業と連携して綾プロ事業を進めています。
 主に地元小中学校の環境学習をはじめ、県内の学校の校外学習や県内からの視察受け入れ、「森の観察会」等の自然観察会の企画等を行っています。豊かな自然を活かし、ユネスコエコパークに登録された日本最大級の綾の照葉樹林の貴重さや綾プロの取り組みの大切さなどを紹介しています。
 令和6年度 活動実績 206件、うち綾プロ関連は41件でした。

- ・視察・外部対応 61件(1件)
- ・主催イベント・講座等の開催 50件(4件)
- ・他者主催イベント等への参加 1件(0件)
- ・取材対応 3件(0件)
- ・調査・作業 11件(9件)
- ・会議・打ち合わせ等 80件(27件)

※国は九州森林管理局・宮崎森林管理署、県は宮崎県、町は綾町、N J は日本自然保護協会、T はてるはの森の会 全は連携会議各機関

綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画（綾の照葉樹林プロジェクト）
令和6年度 事業報告書

目 次

I	実施項目別スケジュールと令和6年度実施事業一覧	1-2
II	令和6年度 事業報告（※項目順に実施した事業名（報告書記載者名）を掲載）	
1	項目：綾の照葉樹林プロジェクトの推進のための基盤整備	
2	項目：照葉樹林の保護・復元 － 照葉樹林の保護と復元等を推進するための計画的・順応的管理を実施	
2-1-①	綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画（連携：九州森林管理局）	3
2-2-①	プロジェクト事務局運営事業（連携：九州森林管理局・綾町）	4
2-2-②	電波通信環境改善事業（綾町）	5
2-3-①	復元手法の再検討（連携：九州森林管理局）	6
2-3-②	照葉樹林復元のためのシカ被害対策（連携：九州森林管理局）	7
2-4-①	人工林から照葉樹林への復元作業（九州森林管理局）	8
2-4-①	人工林から照葉樹林への復元作業（宮崎県）	9
2-4-①	人工林から照葉樹林への復元作業（綾町）	10
2-4-③	綾プロエリア等における鳥獣捕獲事業（九州森林管理局）	11
2-5-②	照葉樹林復元の動態モニタリング調査（九州森林管理局）	12
2-6-①	照葉樹林復元ボランティア作業の実施（九州森林管理局）	13
3	項目：照葉樹林の調査研究 － 照葉樹林を適切に保全管理するための調査研究を推進し反映する	
3-4-①	市民参加型の調査研究の実施（日本自然保護協会）	14
4	項目：照葉樹林を通じた環境教育 － 環境教育を推進する	
4-1-①	森林環境教育プログラムの検討とエリアの見直し （連携：九州森林管理局）	15
4-1-②	照葉樹林に親しむイベントの開催（てるはの森の会）	16
4-2-②	路網整備（宮崎県）	9
4-2-②	遊歩道整備ボランティア（てるはの森の会）	17
4-3-①	照葉樹林ガイドボランティア事業補助（綾町）	18
4-3-①	環境学習事業 照葉樹林ガイドボランティア事業（てるはの森の会）	19

5 項目：プロジェクトの情報発信－情報発信及び支援の輪の拡大活動	
5-1-① 会員情報（てるはの森の会）	20
5-1-③④ 普及啓発事業（てるはの森の会）	21
5-1-④ ホームページ等による情報発信（九州森林管理局）	22
5-1-⑤ 綾プロ20周年事業の計画（連携：九州森林管理局）	23
5-1-⑥ 事業説明会の実施（連携：九州森林管理局）	24
6 項目：照葉樹林と共生した地域づくり－自然と共生した地域づくりへの貢献を推進する	
6-1-① 地域づくりワーキング事業補助（てるはの森の会）	25
6-1-② 照葉大吊橋 森の驛運営事業（てるはの森の会）	26
6-2-① 綾町森林づくりビジョン策定（綾町）	27
6-3-① ユネスコエコパークとの連携（連携：綾町・九州森林管理局）	28
6-3-① 綾町森林・林業関係検討会「綾プロ 自然と共生する地域づくり支援事業」（九州森林管理局）	29
6-3-① ユネスコエコパークとの連携（綾町）	30
6-3-① 綾 BR 専門委員会、地域連携協議会への出席。綾町 BR 運営会議における実施計画策定支援（日本自然保護協会）	31
7 項目：生物多様性の保全管理－生物多様性の保全管理を推進する	
7-1-① 生物多様性保全に配慮した森林整備（九州森林管理局）	32
7-1-① 県営林造成事業（宮崎県）	9
7-2-② 綾生物多様性地域戦略 実践支援事業（綾町）	33
III 令和6年度 綾の照葉樹林プロジェクト社会的活動まとめ	34
IV 令和6年度 綾の照葉樹林プロジェクト関連文献一覧	35
V 令和6年度 綾の照葉樹林プロジェクト関連新聞記事	36

実施項目別スケジュール（令和5年度～9年度）と令和6年度実施事業一覧
重点目標：①20周年事業の準備・計画 ②エリアの見直し

実施項目別スケジュール					令和6年度事業報告				
項目	課題	行動内容	実施項目	主担当	記載者	事業名	連携先	頁	
1	協働の体制づくり	綾の照葉樹林プロジェクトの推進のための基盤整備	中長期目標と目標設定の見直し	目標を再確認し必要に応じて見直しを検討する	全				
2	照葉樹林の保護・復元	照葉樹林の保護と復元等を推進するための計画的・順応的管理を実施	1 綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画（以下、計画書という）の見直し	必要に応じて内容の見直しを検討した上で計画書を策定	全	国	綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画	全	3
			2 計画書に基づき適切な保全管理を行う	① 連携者間における進捗状況等の共有	全	国	プロジェクト事務局運営事業	全	4
				② 管理施設（案内板・標識等）の整備	全	町	電波通信環境改善事業	全	5
			3 シカ被害対策を含む効果的・効率的な復元手法を確立する	① 復元手法を再検討する	全	国	復元手法の検討	全	6
				② 川中神社周辺におけるスギ人工林の照葉樹林復元に向けた効果的なシカ対策と新たな手法による間伐及び種子採取・播種等の試行と実行への移行	全	国	照葉樹林復元のためのシカ被害対策	全	7
			4 計画的な施行を実施する	① 計画的な間伐の実施（国有林・県有林・町有林）	国・県・町	国・県・町	人工林から照葉樹林への復元作業	—	8 9 10
				② 復元見本林の整備	全				
				③ 有害鳥獣捕獲（国有林、県有林、町有林）	国・県・町	国	綾プロエリア等における鳥獣捕獲事業	—	11
5 復元効果を評価する調査研究を推進する	① 間伐後の復元状況を評価調査実施（国有林、県有林、町有林）	国・県・町・NJ							
	② データの収集、解析、復元方法へのフィードバック方法の確立	国・県・町・NJ	国	照葉樹林復元の動態モニタリング等	—	12			
6 市民のプロジェクトへの参加を推進する	市民参加型の復元作業の実施	国・町・T	国	照葉樹林復元ボランティア作業の実施	T	13			
3	照葉樹林を適切に保全管理するための調査研究を推進し反映する	照葉樹林を適切に保全管理するための調査研究を推進し反映する	1 既往の調査・研究成果に基づき計画的に調査を実施する	調査・研究成果に基づき毎年度計画的な調査（モニタリング）の実施	国・県・町				
			2 モニタリング調査の実施	保護林・緑の回廊に関する調査	国				
			3 調査・研究成果の共有化及びデータベースを構築する	① GISを活用した林小班ごとの復元に必要な情報の整備	国・NJ				
				② 調査・研究成果の共有化・データベース化	国・NJ				
4 市民のプロジェクトへの参加を推進する	市民参加型の調査研究の実施	町・NJ・T	NJ	市民参加による自然林の復元調査及び自然林の調査	国・町・T	14			

実施項目別スケジュール（令和5年度～9年度）と令和6年度実施事業一覧
重点目標：①20周年事業の準備・計画 ②エリアの見直し

実施項目別スケジュール					令和6年度事業報告							
項目	課題	行動内容	実施項目	主担当	記載者	事業名	連携先	頁				
4	照葉樹林を通じた環境教育	環境教育を推進する	1 エリアの見直しと既存資源の活用・教育プログラムの検討	① 環境教育エリアの見直しと既存資源の掘り起こしの検討と有効活用	全	国	森林環境教育プログラムの検討とエリアの見直し	全	15			
				② 環境教育プログラムを検討し、試行的に実施	全	T	照葉樹林に親しむイベントの開催	町	16			
			2 大吊橋周辺、川中自然公園、大口遊歩道等の活用方法を検討する	① 環境教育に関する活用方法の検討	T							
				② 必要なルート整備を実施	県・T	県	路網整備	—	9			
				③ 崩壊した九州自然歩道について新たなルートや歩道復旧を検討する	県	T	遊歩道整備ボランティア作業	県	17			
			3 ガイドボランティアを養成し、市民の理解を深める	① ガイドボランティア事業の実施・養成	T	町	照葉樹林ガイドボランティア事業補助	T	18			
				② ガイドを通して市民に綾プロを理解してもらうためのプログラム作り	T	T	環境学習事業 照葉樹林ガイドボランティア事業	—	19			
				③ 森林セラピーとの連携体制の検討	町・T							
			5	プロジェクトの情報発信	情報発信及び支援の輪の拡大	1 市民や企業など広く一般にプロジェクトの内容を知ってもらい、参画や会員の拡大を図る	① サポーターの募集を行い、会員を増やす	全	T	会員情報	全	20
							② パンフレット、リーフレットの作成及び配布	全				
③ ニュースレター、報告書の作成及び配布	全	T					普及啓発事業	全	21			
④ HPの作成及び更新	全	国					ホームページ等による情報発信	—	22			
⑤ フォーラムの実施	T	T					普及啓発事業	全	21			
⑥ 事業説明会の実施	全	国					綾プロ20周年事業の計画 事業説明会の開催	全	23 24			
6	照葉樹林と共生した地域づくり	自然と共生した地域づくりへの貢献を推進する	1 市民との協働で実施する運営体制を構築し、市民が積極的に綾プロに参画できるようにする	① 地域づくりワーキングの設置及び運営	町・T	T	地域づくりワーキング事業補助	町	25			
				② てるはの森の驛の活用方法を検討し、それに応じて必要な整備	町・T	T	照葉大吊橋 森の驛運営事業	町	26			
			2 綾町の他の事業との連携のあり方を検討し、実行計画を策定する	照葉樹林都市・綾の森林ビジョン策定	町	町	綾町森林づくりビジョン策定	国・県	27			
				3 綾プロと綾ユネスコエコパークの連携を推進する	ユネスコエコパークを推進する計画を策定し、実践する	国・町	ユネスコエコパークとの連携	全	28			
			国			綾町森林・林業関係検討会「綾プロ 自然と共生する地域づくり支援事業」	県・町	29				
			町	ユネスコエコパークとの連携	—	30						
NJ	綾ユネスコエコパーク専門委員会、地域連携協議会への出席。綾町ユネスコエコパーク運営会議における実施計画策定支援	町	31									
7	生物多様性の保全管理	生物多様性の保全管理を推進する	1 生物多様性保全の配慮	生物多様性保全に配慮した施業の実施	国・県	国	生物多様性保全に配慮した森林整備	—	32			
					県	県営林造成事業	—	9				
			2 生物多様性地域戦略を推進する	① 綾町の里山周辺の植生調査	町・NJ							
				② 生物多様性地域戦略の実施	全	町	綾生物多様性地域戦略 実践支援事業	NJ	33			

事業名	綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画(継続)	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	2-1-①	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	本計画の期間（令和5年4月1日から令和10年3月31日）は、綾の照葉樹林プロジェクト推進協定の期間と合わせて、おおむね5年を目途に必要な見直しを行う。		
<p>照葉樹林の保護と復元等を推進するための計画的・順応的管理を実施するため、連携者間における進捗状況等を共有し、必要に応じて見直しを行うこととしているが、令和6年度においては見直し等はなかった。</p>			

事業名	プロジェクト事務局運営事業(継続)	実施主体	九州森林管理局 綾町
項目-行動計画- 実施項目	2-2-①	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	各種会議等における、連携者間との連絡調整・問合せ対応、事業の企画などを行う。		

【連携会議】

第40回 令和6年8月9日

主な協議内容 (1) 令和5年度事業報告書
(2) 令和6年度事業計画(案)

第41回 令和7年2月27日

主な協議内容 (1) 令和6年度 綾プロ取り組み状況報告(案)
(2) 令和7年度事業計画(案)

連携会議 各機関担当者の数	
* 連携会議名簿による	
九州森林管理局	4
宮崎森林管理署	1
宮崎県	3
綾町	5
日本自然保護協会	3
てるはの森の会	3
学識経験者	1

【連絡調整会議】

第1回 令和6年6月6日

主な協議内容 (1) 第40回連携会議について

第2回 令和6年8月9日

主な協議内容 (1) 第40回連携会議について
(2) 綾プロ20周年記念について

第3回 令和6年10月21日

主な協議内容 (1) 20周年記念事業について
(2) 復元ボランティア作業について
(3) 試行的な取り組みについて(間伐・どんぐり育苗)

第4回 令和6年12月17日

主な協議内容 (1) 20周年記念事業について
(2) 復元ボランティア作業について
(3) どんぐりの育苗について(綾中学校)

第5回 令和7年1月20日

主な協議内容 (1) 綾町公民館大会での綾プロ活動報告について
(2) 復元ボランティア作業について
(3) 第41回連携会議について
(4) 20周年記念事業について

第6回 令和7年2月27日

主な協議内容 (1) 第41回連携会議について
(2) 20周年記念事業について

連絡調整会議 各機関担当者の数	
九州森林管理局	3
宮崎森林管理署	2
綾森林事務所	1
宮崎県	2
綾町	5
日本自然保護協会	1
てるはの森の会	3
学識経験者	1

事業名	電波通信環境改善事業（継続）	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	2-2-②	連携先	各機関
事業概要 (目的)	千尋自然公園地域の公共通信環境改善に関する事業を実施。		
<p>千尋（せんびろ）自然公園地域の通信環境は一部を除き、現在圏外となっているが綾の照葉大吊橋や川中自然公園が含まれ、観光や環境教育等で人の利用が多いため、安全面や緊急時を考慮し電波通信環境の改善について担当部署と協議検討を進めている。</p> <p>2025年4月10日よりau Starlink Direct（Starlink衛星とスマートフォンが直接接続できる）サービスが開始される。サービスを利用すると、空が見える環境であれば、衛星モードに自動で切り替わり、テキストメッセージの送受信などができるようになる。</p> <p>この機能の活用や周知等も含めて通信環境の整備について次年度検討を進めていく。</p>			

事業名	復元手法の検討(継続)	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	2-3-①	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	シカ被害対策、種子の採取・播種、植栽苗の育苗及びこれらのスケジュール等について引続き検討を行う。また、試行的な取組として進めている植栽苗の育苗について、綾小・中学校と協力しながら進めた。		

綾小中学校の協力のもと、令和5年度に蒔き付けしたどんぐり苗については、生徒による水やり等の管理が継続してなされている。

また、綾中学校においては、令和6年度の1年生による新たなどんぐりの蒔き付けを実施した。

【どんぐり苗 (小学校)】



【どんぐり苗 (中学校)】



事業名	照葉樹林復元のためのシカ被害対策(継続)	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	2-3-②	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	川中神社周辺及び隣接する保護エリアの国有林(人工林)において、シカの行動・生息状況把握調査を踏まえた、シカの効果的な捕獲方法の検討を行い、天然力による照葉樹林の復元を図る取組を進める。		
<p>綾町、綾町有害鳥獣対策協議会、宮崎森林管理署におけるシカ対策協定書に基づく有害鳥獣捕獲を実施。</p> <p>シカ被害対策に係る行動、及び生息状況把握調査(自動撮影カメラのデータ回収)を実施。</p> <p>有害・協定・委託による捕獲区域のエリア分けを行うなど効果的な実施に繋がるよう調整。</p>			

事業名	人工林から照葉樹林への復元作業(継続)	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	2-4-①	連携先	—
事業概要 (目的)	保護エリアの国有林において、人工林を照葉樹林に復元するための間伐を実施。また、試行的な取り組みとして復元モデル地区を設定し、間伐後にシカネットの設置や植生モニタリング調査を実施した。		

保護エリア（2044と、と1・2041り、ぬ、ぬ2林小班）において間伐を実施した。
 なお、2044と、と1林小班については、復元モデル地区として設定し、以下の試行的な取組を実施した。

- ①間伐実行時に区域内の母樹（広葉樹）を保全。
- ②一部区域にシカネット（2重張り）を設置。
- ③間伐実行前後及びシカネット内外における植生モニタリング調査を実施。

【シカネット設置】



【植生モニタリング調査】



事業名	県有林造成事業(継続)	実施主体	宮崎県
項目-行動計画- 実施項目	2-4-① 4-2-② 7-1-①	連携先	森林経営課
事業概要 (目的)	持続的な林業経営を行うエリア等において、スギ人工林の間伐を実施する。また、森林環境教育・保健休養の利用を図ると共に、人工林の針・広混交林化を進めるエリアにおいて、獣害防除を実施する。		

※短期行動計画の内容に重複する部分があることから、2項目の事業報告を行う。

1 間伐(列状間伐) 2-4-①、4-2-②
実績無し。

2 獣害防除(忌避剤散布) 7-1-①

(1) 場 所 25世紀の森(カヤとスギの複層林)

(2) 面 積 3.23ha

(3) 時 期 12月～2月



獣害防除(忌避剤散布)



カヤ植生状況

【参考】

○対 象 獣：シカ

○薬 剤 名：コニファー水和剤

(生態系に配慮した安全な薬剤、獣類が嫌がる匂いを発する)

○散布方法：1haあたり原液12.5リットルの薬剤を、地際から1.5m高まで散布

○散布回数：年2回

(餌が不足する11月～3月が適期、2回目の間隔は1か月以上空ける)

事業名	人工林から照葉樹林への復元（新規）	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	2-4-①	連携先	-
事業概要 （目的）	綾プロエリア内の町有林について、綾プロ計画書および綾町森林整備計画に基づき施業計画を検討する。		
<p>■綾プロエリア内の町有林について</p> <p>《 綾プロエリア区分 》</p> <p>綾プロエリア⑩ スギ林や二次林から照葉樹林へ復元するエリア・・・65ha ⇒大口町有林の一部、百ヶ倉町有林</p> <p>綾プロエリア⑪ 環境教育や森林セラピー的利用を目指すエリア・・・5ha ⇒川中自然公園、後藤広場</p> <p>綾プロエリア⑫ 持続的な森林経営を行うエリア・・・85ha ⇒大口町有林の一部、小屋ヶ谷町有林</p> <p>《 基本的な考え方・具体的な取扱 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリア⑩とエリア⑪の一部 県道沿いや照葉大吊橋付近にあるため、観光資源としての観点からスギ人工林から照葉樹林への復元を図る。 ・エリア⑪ 川中自然公園はアクセスが良い場所であるため、自然体験型の利活用の場として提供する。 ・エリア⑫ 複層林や針広混交林への移行を図り、人工林の適正な整備を行いながら持続的な林業経営を行う。 <p>■検討会の実施</p> <p>綾プロエリア内の町有林について管轄部署や宮崎中央森林組合と情報共有し施業計画の検討を行った。</p> <p>検討会：令和6年8月7日</p> <p>○宮崎中央森林組合よりこれまでの間伐等の実施状況と今後の施業計画について報告。 ⇒これまで綾プロ計画書に基づき、間伐可能なところは全て実施済。</p> <p>現状では、活用できる補助金がなく実施できる場所が無い。</p> <p>来年度また状況が変わり次第、情報共有する。</p> <p>○今後も綾プロ計画書に基づき、施業を計画し進めていくことを改めて確認。</p> <p>○次年度以降も随時検討・協議しながら進めていく。</p>			

事業名	綾プロエリア等における鳥獣捕獲事業 (継続)	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	2-4-③	連携先	
事業概要 (目的)	綾プロエリア内にある大森岳林道、綾南林道沿い等において、委託事業によるニホンジカの誘引捕獲を実施。		
<p>綾町、綾町有害鳥獣対策協議会、宮崎森林管理署とのシカ対策協定書に基づく令和6年度の有害鳥獣捕獲実績は、民有林で68頭、国有林で22頭の実績となった。</p> <p>また、令和6年度の委託事業における有害鳥獣捕獲（誘因捕獲）については73頭の捕獲実績となった。</p>			

事業名	照葉樹林復元の動態モニタリング等(継続)	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	2-5-②	連携先	—
事業概要 (目的)	既往のモニタリング調査結果の再整理、分析を基に該当する各プロットにおける照葉樹林への復元に関するモニタリング調査を実施(委託業務)。		
<p>台風の影響により調査地へのアクセスが困難な状態であるため未実施。</p>			

事業名	照葉樹林復元ボランティア作業の実施 (継続)	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	2-6-①	連携先	てるはの森の会
事業概要 (目的)	保護エリアにおいて、公募等により募集しボランティア作業を実施した。		

令和7年3月6日にダイワハウスより12名のボランティアが参加し、川中製材所跡地へ通じる歩道の整備を実施した。

【歩道整備作業】



【集合写真】

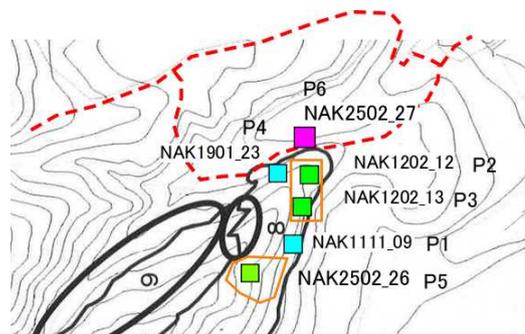


事業名	市民参加による自然林の復元調査(継続) 及び自然林の調査(継続)	実施主体	NACS-J
項目-行動計画- 実施項目	3-4-①	連携先	綾町 てるはの森の会 九州森林管理局
事業概要 (目的)	11月、2月にボランティア間伐事業に合わせて林床植生調査を実施。温湿度データロガー設置及び回収(1月)。その他必要となる調査等。綾町における環境教育の取り組み状況の把握(通年)。綾町生物多様性地域戦略の見直し。		

綾の照葉樹林プロジェクトエリアに設定したボランティア間伐後のモニタリング調査プロットは、13箇所(国有林12箇所、県有林1箇所)が設定されており、基本的に5年に一回調査を実施することとしている。

調査は、2025年2月26日てるはの森の会の呼びかけにより、学生グループである「緋熊と黒潮」のメンバーを中心とした25名が参加し、以下のプロットの調査を実施した。

中尾国有林(2045林班よ小班)に設定されたシカ柵内のプロット(NAK1202_13、NAK1202_12)、シカ柵外(NAK1111_09、NAK1901_23)、2023年1月に設置されたシカ柵内(NAK2502_26)を対象とした。



調査から6m程度の幅(2伐)の列状間伐では林床の光環境の改善が限定的であること(図1)、二ホンジカの増加により発芽した実生は大きくなれないことがわかりました(図2)。復元のためには林冠木を伐採し、林内を明るくすると同時にシカ柵等による対策が必要であることがわかりました。

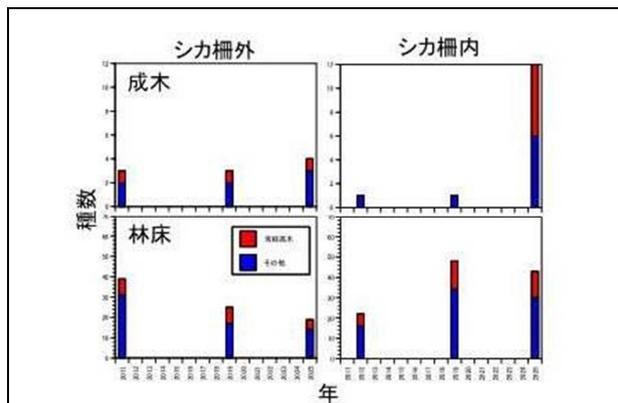


図1 シカ柵内外の種数の変化(外P4、内P2)
2011年、2019年、2025年の調査に基づく

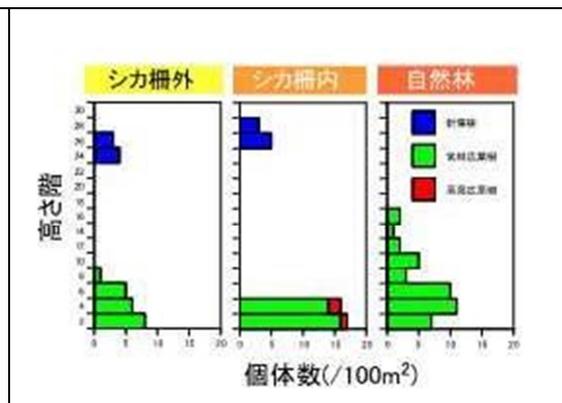


図2 2011年に間伐されたスギ人工林の2025年2月現在のシカ柵外(P4)、シカ柵内(P2)、自然林(P6)の階層構造
2014年にシカ柵が設置された。

事業名	森林環境教育プログラムの検討と エリア見直し（新規）	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	4-1-①	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	環境教育プログラムの検討と併せて、現行のエリア設定について見直しを行う。		
<p>見直しの対象エリアへ向かう道路が通行止めの状況が続いており、現地確認等が実施できなかったため環境教育WGで検討を継続する。</p>			

事業名	照葉樹林に親しむイベントの開催 (継続)	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画- 実施項目	4-1-②	連携先	綾町
事業概要 (目的)	照葉樹林に親しむ散策や体験等を企画し、綾プロへの理解を深める		
<p>○年度当初に実施について検討されず、実施できず</p>			

事業名	遊歩道整備ボランティア作業(継続)	実施主体	てるはの森の会
項目－行動計画 －実施事項	4-2-②	連携先	宮崎県
事業概要 (目的)	照葉樹林トレッキングコースとして、歩道の整備や看板の整備等をボランティアと行い、新たな散策ルートとして活用する。		

県有林遊歩道整備作業を昨年3月17日(日)に計画も雨天中止、本年4月21日に2回目を計画したが、雨天中止になり、実施できていない。



作業予定箇所

事業名	照葉樹林ガイド事業補助(継続)	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	4-3-①	連携先	てるはの森の会
事業概要 (目的)	綾の照葉大吊橋遊歩道での照葉樹林の貴重さや綾プロについて普及活動をしている照葉樹林ガイド事業(てるはの森の会)への補助。		
<p>令和6年度は予算措置がなく、てるはの森の会が実施する照葉樹林ガイド事業(次ページ参照)へ補助ができなかった。</p> <p>令和7年度以降も予算措置は見込めず、本補助事業は終了することとなった。</p>			

事業名	環境学習事業 照葉樹林ガイドボランティア事業 (継続)	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画 -実施項目	4-3-①	連携先	-
事業概要 (目的)	大吊橋周辺の遊歩道などで照葉樹林の貴重さや綾プロを普及させるため、 照葉樹林ガイドボランティア実践活動やガイド養成を行う。		

① 照葉樹林ガイドボランティア実践活動

令和4年の台風で吊り橋遊歩道は通行止めになり、大吊り橋往復と川中自然公園イチイガシ巨木までを組み合わせた案内を実施中。川中自然公園の道は平たんで歩きやすく、好評である。

○照葉樹林ボランティアガイド 8組46名を案内

NO	日程	曜日	来訪者名 (団体名・ツアー名等)	主催者所在地	ガイド数	参加者数
1	8月5日	月	日本大学生物資源科学部 国際共生学科	神奈川県	1	17
2	10月22日	火	個人	和歌山県		2
3	11月20日	水	(株)クスベ産業	和歌山県	1	3
4	11月22日	金	門川高校	宮崎県	1	5
5	12月27日	金	個人	熊本県	1	1
6	1月26日	日	個人	静岡県	1	1
7	2月26日	水	緋熊と黒潮	福岡県	1	16
8	3月29日	土	個人	栃木県	1	1

○照葉樹林ガイド養成講座

1 昨年開催したガイド養成講座のスキルアップ講座を1回行い3名の参加があった。バス料金の高騰等により遠足のガイド依頼が全くなり、実践練習機会が少なくなっている。

NO	日程	曜日	ガイドスキルアップ研修	講師	開催場所	参加者数
1	3月29日	土	吊橋、川中	駒田勤	吊橋&川中	3

事業名	会員情報(継続)	実施主体	てるはの森の会						
項目-行動計画- 実施項目	5-1-①	連携先	全						
事業概要 (目的)	官民協働プロジェクトを推進するため、市民参加の窓口としててるはの森の会会員へ入会を募集するほか、賛同者の寄付による参加を促す。								
<p>○正会員数 : R7.4.1現在 6名 (内、理事4名)</p> <p>○賛助会員数 : R7.4.1現在 個人サポート会員 67件 (-3) 法人サポート会員 11件 (-3) 団体サポート会員 6件 (-1)</p> <p>○会費収入 : 283,000円</p> <p>○寄付金収入 : 153,334円</p> <table border="1" data-bbox="279 1288 821 1456"> <tr> <td>その他寄付</td> <td>150,085</td> </tr> <tr> <td>てるは大吊橋募金箱</td> <td>3,249</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>153,334</td> </tr> </table> <p>○会員には年3回照葉樹林だよりを送付している。</p>				その他寄付	150,085	てるは大吊橋募金箱	3,249	計	153,334
その他寄付	150,085								
てるは大吊橋募金箱	3,249								
計	153,334								

事業名	普及啓発事業(継続)	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画 -実施項目	5-1-③、④	連携先	全
事業概要 (目的)	ホームページの更新やニュースレターの発行、イベントでの展示ブース出展等の広報活動を行なう。ホームページ上にて報告書を掲載。		
<p>○広報誌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「照葉樹林だより」68号 10月17日 500部発行 ・「照葉樹林だより」69号 1月16日 500部発行 ・「照葉樹林だより」70号 3月8日 500部発行 <p>広報誌「照葉樹林だより」を3号編集、発行し、会員、関係機関、今まで関わった研究者等に送付した。国立国会図書館にも送付している。</p> <p>○てるはの森の会のホームページ http://teruhanomori.jp/</p>  <p>○てるはの森の会 facebook での情報発信</p> <p>○視察対応 1件</p> <p>○綾プロ報告書の公開 当会 HP http://teruhanomori.jp/ 九州森林管理局 HP jigyohoukokusyo-14.pdf (maff.go.jp) 綾ユネスコエコパークセンターHP https://ayabrcenter.jp/unescoecopark/project/</p>			

事業名	ホームページ等による情報発信	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	5-1-④	連携先	—
事業概要 (目的)	綾の照葉樹林プロジェクトでの取組について、令和7年3月に最新情報に更新。		

リンク先：<https://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/aya/index.html>



綾の照葉樹林

綾の照葉樹林プロジェクトとは

照葉樹林への復元

これまでの取組

事業報告書

事業名	綾プロ20周年事業の計画（継続）	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	5-1-⑤	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	綾プロ20周年記念事業についての計画・準備を実施。		
<p>令和7年に綾プロが発足してから20年を迎えるに際し、連携機関と協働し実施内容の検討や実施に向けての準備等についてWGや会議等を通じ打ち合わせ、以下のとおり計画・実行することで確認した。</p> <p>○記念事業について</p> <p>1. 記念誌 これまでの取組等をまとめた記念誌として、外部向けの概要版、連携者向けの詳細版をそれぞれ発行する。</p> <p>2. 森の散策会 「新緑の川中の森へ行こう」をテーマに森の散策会を実施する。</p> <p>3. 記念報告会 綾町内外の人々を対象に綾プロの理念や取組について理解を深めてもらうことを目的に報告会を実施する。 報告会の内容については、各機関からの取組についての報告や、基調講演、パネルディスカッション等を予定。</p> <p>4. 普及啓発活動 ポスターや写真展示について、報告会会場やエコパークセンターで展示を行う。</p>			

事業名	事業説明会の開催（継続）	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	5-1-⑥	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	綾町民等を対象に綾プロの普及啓発と合わせて、20周年記念事業の予告を行う。		
<p>・令和7年2月11日に開催された公民館大会において、綾プロの取組の概要及び令和6年度における事業報告を実施した。</p> <p>また、令和7年度は20周年を迎えるに際し、記念事業を企画する旨を周知した。</p>			

事業名	地域づくりワーキングの設置と運営 事業補助(継続)	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画- 実施項目	6-1-①	連携先	綾町
事業概要 (目的)	地域づくりWGは、綾プロジェクトの推進体制や当プロジェクトを活用した地域振興等に関する事項を検討し、住民参加を促すことを目的とする。		

検討会5回、一般ツアー1回、スタディーツアー2回、多古羅散策1回の計9回を開催した。里山散策体験ができる「大人の山学校」では、今年度は定期ツアーを3回計画した。定期ツアーは、10月20日は予定通り開催したが、5月、1月のツアーは参加者が集まらず、中止にした。しかし、学生ツアーの予約を受け2回実施し、41名を案内した。9月から1年間、損保ジャパン {SAVE ジャパンプロジェクト} の助成を受け、学生料金の補助やガイドマニュアルの充実、ガイドグッズの整備等を行っている。

○ワーキング委員会実施スケジュール

	日程	委員会の内容	参加人数
1	R6年5月8日(木) 19:00~21:00	・昨年度の反省 ・今年度の計画 ツアー日時決定	9名 町職員2
2	R6年6月19日(火) 19:00~21:00	・経費・通帳の取り扱い ・中ぶり修正	11名 町職員2
3	R6年9月17日(木) 19:00~21:00	・10月21日の詳細について ・会計について	9名、 町職員2
4	R6年10月11日(木) 19:00~21:00	・10月21日の反省	7名 町職員2
5	R7年1月9日(木) 19:00~21:00	・1月20日の反省 ・来年度の計画	9名 町職員1



散策の様子



箱罫の見学



料理

事業名	照葉大吊橋森の驛運営事業(継続)	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画 -実施項目	6-1-②	連携先	綾町
事業概要 (目的)	照葉大吊橋食堂跡地において、「てるは森の驛」(1F:無料休憩所、2F:木のおもちゃで遊べる木育体験コーナー、3F:飲食物を提供する軽食堂)を運営する。		

3F「てるは森の驛」は日曜、連休のみの開館となった

○3F: 飲食物を提供する軽食堂「てるは森の驛」 ○2F: 木育広場として活用



食堂のようす



木育広場

○1F:料金所要望により、店舗空きスペースへパネルを移動した。展示物が近くなり、見学の人が多くなっていると感想をいただいた。

1Fの綾の紹介ビデオは、故障したままで、放映できない状態のままである。



事業名	綾町森林づくりビジョン策定（継続）	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	6-2-①	連携先	九州森林管理局 宮崎県
事業概要 (目的)	綾町の森林・林業が綾ユネスコエコパークの推進にふさわしいものとなるよう、綾森林整備計画と関連付けて策定を行う。		
<p>綾町森林（もり）づくりビジョン策定</p> <p>綾町森林業関係検討会（綾町, 宮崎中央森林組合, 中部農林振興局, 宮崎森林管理署）において従前のビジョン案を一新する方向で協議を進めてきたが、綾町森林整備計画との内容の整合性や関連性を踏まえ、綾町内部でビジョン策定について再度検討を行った。</p> <p>綾町森林業関係検討会は令和6年度は関係部署の担当者が変わったこともあり、年度初めに関係者間で1回協議を行った。</p>			

事業名	ユネスコエコパークとの連携(継続)	実施主体	町・局
項目-行動計画- 実施項目	6-3-①	連携先	全
事業概要 (目的)	ユネスコエコパークエリア(緩衝地域)拡張に向けた調査の実施及び検討協議の推進。		
<p>10月11日に綾BR専門委員会が開催され、各事業の進捗状況の報告、大学研究機関との連携事業の報告、ユネスコへの定期報告等について協議がなされた。</p>			

事業名	綾町森林・林業関係検討会「綾プロ 自然 と共生する地域づくり支援事業」	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	6-3-①	連携先	綾町 宮崎県
事業概要 (目的)	綾プロの保全管理計画との連携の中で、綾町の森林・林業の現状、課題等について関係者による検討を重ね、その解決に向けて具体的な取り組みを協議する。		
<p>令和6年度においては、4月に関係機関による会議を実施し、綾町の森林・林業の現状、課題等について、情報共有を行い、綾プロの復元等各種取組との連携を図るための検討を行った。</p>			

事業名	ユネスコエコパークとの連携（継続）	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	6-3-①	連携先	-
事業概要 (目的)	綾プロエリアが綾BRエリアの核心地域及び緩衝地域にあたることから、綾BRと連携することで綾プロの認知度を高め、活動の活性化を図る。		

■綾ユネスコエコパーク推進の根幹となる協議会等の運営

綾BR専門委員会では各事業の進捗状況の報告、大学研究機関との連携事業の報告、ユネスコへの定期報告等について協議した。

R6年

- 7月11日 まちづくりネットワーク総会
- 9月10日 まちづくりネットワーク定例会
- 10月11日 綾BR専門委員会
- 10月15日 まちづくりネットワーク定例会
- 12月 8日 照葉樹林クリーンアッププロジェクト

R7年

- 3月13日 綾BR運営委員会
- 3月27日 綾BR地域連携協議会



〈 10/11 第15回 綾BR専門委員会 〉

■ネイチャーポジティブについての取り組み

「綾町イオンの森と割付地区の日向夏畑」がOECM（自然共生サイト）に認定（10月）イオン環境財団と綾町が協働で管理整備を進めていく。

■綾ユネスコエコパークエリア内における生物多様性に関わる基礎調査の実施

宮崎大学及び京都府立大学と連携して綾北川・綾南川流域の森林及び移行地域で野生動植物調査を実施した。（カメ・小型哺乳類・植物・昆虫）

昆虫：日本甲虫学会 観察調査会 研究者23名 7月4日～8日（令和5年度から2年連続実施）

■綾ユネスコエコパーク年間活動

令和6年度 活動実績 217日、206件 *（ ）内は綾プロ関連の件数

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 視察・外部対応 | 61件（1件） |
| 2. 主催イベント・講座等の開催 | 50件（4件） |
| 3. 他者主催イベント等への参加 | 1件（0件） |
| 4. 取材対応 | 3件（0件） |
| 5. 調査・作業 | 11件（9件） |
| 6. 会議・打ち合わせ等 | 80件（27件） |

事業名	綾ユネスコエコパーク専門委員会、地域連携協議会への出席。綾町ユネスコエコパーク運営会議における実施計画策定支援(継続)	実施主体	NACS-J
項目-行動計画- 実施項目	6-3-①	連携先	綾町
事業概要 (目的)	地域連携協議会、専門委員会へ出席し、国内外の情報を活用してよい方向に進むようアドバイスを行う。綾 BR 定期報告作成に向けた支援及び情報収集等を行う。		
<p>・綾町の定期報告作成に向けてアドバイスをを行った。</p> <p>論文</p> <p>・朱宮丈晴 (2024) 自然を基盤とした持続可能な社会構築のためのユネスコエコパークへ.Japan infoMAB.No47:1-2.</p> <p>報告書</p> <p>・令和6年度業務委託報告書綾生物多様性地域戦略実施計画支援業務、綾町、業務受託者：日本自然保護協会.</p> <p>講演</p> <p>・2024年7月17日JBRN大会in延岡</p> <p>・2024年11月12日「企業等と連携した 生物多様性保全の取組 みなかみネーチャーポジティブプロジェクト」、林野庁森林技術総合研修所主催</p> <p>開催</p> <p>・2025年3月13日日本MAB計画支援委員会総会</p> <p>委員会</p> <p>・2025年3月27日綾BR地域連携協議会 (綾町)</p>			

事業名	生物多様性に配慮した施業の実施	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	7-1-①	連携先	—
事業概要 (目的)	生物多様性保存に配慮した森林整備を実施する。		

保護エリア内(2092林班)において、ミドリムヨウラン等の貴重な植物をシカの食害から守るため、
下図のとおり植生保護柵を設置した。

【植生保護柵設置箇所位置図】



事業名	綾生物多様性地域戦略 実践支援事業（継続）	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	7-2-②	連携先	NACS-J
事業概要 (目的)	綾プロエリア内の林床植生調査や綾生物多様性地域戦略の内容を実際に実施していくための綾町内での活動を日本自然保護協会に委託している。		
<p>〈 令和6年度 業務委託報告書より抜粋 〉</p> <p>■綾プロエリア内林床植生調査</p> <p>目 的：間伐の効果を図ること。 調査の結果に基づいて間伐方法を検討すること。 市民自ら調査を行うことで復元の効果を実感すること。</p> <p>場 所：国有林2094よ林小班内 4プロット</p> <p>参加者：令和7年2月26日 25名 (学生：14名、一般：3名、スタッフ：8名 (NACS-J、てるはの森の会、綾町))</p> <p>考 察：</p> <p>①間伐後（光環境の変化）の群落構造に及ぼすニホンジカの影響 復元が進んでいない要因 林冠のうっ閉による光環境の変化（間接要因）とニホンジカの採食（直接要因） シカ柵内外の植生比較 シカ柵外はシカの採食の影響を受け、林床の個体数と種数は減少傾向。 シカ柵内は林床の個体数と種数は増加傾向だが、シカ不嗜好性植物(ユズリハ)が優占。</p> <p>②自然林からの距離に応じた群落組成とニホンジカの影響 自然林に最も近いプロットが、自然林の群落組成との類似性が最も高かった。 自然林からの距離が等しいP2（シカ柵内）とP4（シカ柵外）でシカの採食の影響を比較した。 P2とP4では群落組成が異なった。 ブナ科樹種群の再生は自然林からの距離に依存する。 自然林からの距離が近い場合でも、高密度なニホンジカの存在下では採食の影響を受ける。 ⇒採食による影響を受けない樹高サイズに成長するまでシカ柵などの保護対策が必要。</p> <p>■生物多様性地域戦略 実施支援 綾生物多様性地域戦略の改訂作業にあたり、改訂案を提案。</p> <p>■情報収集</p> <ol style="list-style-type: none"> 第36回国際調整理事会の暫定課題8：MAB計画におけるユースの関与に関するオープンエンド作業部会（OEWG）の活動の最新情報に関する翻訳及び原文 生物多様性条約第16回締約国会議再開会合（COP16.2）全体概要報告 			

令和6年度 社会的活動について

①綾の森に関する視察・研修・観光・学習・森づくり等対応数

A：綾プロを主な目的として対応したもの

国 別 (件数)							
日本	アジア	中近東	オセアニア	欧州	アフリカ	北米	中南米
4							

B：綾ユネスコエコパークの一部として対応したもの

国 別 (件数)							
日本	アジア	中近東	オセアニア	欧州	アフリカ	北米	中南米
53	1			1			

②新聞・メディアでの露出数（キーワード「綾プロ」、「BR」、「照葉樹林の保護復元」）

媒 体 (件数)				
新聞	雑誌/書籍	テレビ	ラジオ	インターネット
10			1	

※新聞・雑誌/書籍は綾プロ報告書掲載分をカウント

③論文、寄稿、講演、表彰の数

媒 体 (件数)					
論文(※1)	論文(※2)	論文(※3)	寄稿(※4)	講演	表彰
4				2	

※論文・寄稿は綾プロ報告書掲載分をカウント

(※1) 綾プロ関係者が発行者または著作者であるもの（調査報告書、事業報告、冊子含む）

(※2) 綾プロ関係者以外が研究対象として綾プロの活動を取り上げ発行・著作したもの

(※3) 綾プロ関係者以外が研究対象として綾プロフィールを取り上げ発行・著作したもの

(※4) 綾プロ関係者が他機関が発行・編集するものに依頼を受けて綾プロに関連することを執筆したもの

④各者の年間支出（てるは人件費・事業費の合計、その他4者は事業費のみ）

（単位 千円）四捨五入

九州森林管理局	宮崎県	綾町	日本自然保護協会	てるはの森の会
5,004	1,560	1,183	800	1,990

令和6年度 綾の照葉樹林プロジェクト関連文献一覧

タイトル	発行者	発行年	事務局 / 執筆者	雑誌名	種類	HP上での 公開/非公開	公開しているHP名
広報あや 4月号～3月号 ユネスコエコパーク通信・コラム	綾町役場	2024～2025	綾町役場 エコパーク推進室	広報あや	広報	公開	綾ユネスコエコパーク
照葉樹林だより第68号～70号	一般社団法人 てるはの森の会	2024～2025	一般社団法人 てるはの森の会	照葉樹林だより	会報	公開	てるはの森の会
単独自治体型ユネスコエコパークにおけるESDの促進要因	一般社団法人 日本環境教育学会	2024	浅岡永理・小玉敏也	環境教育 34巻(2024年)1号	学会誌	公開	J-STAGE
令和6年度 綾生物多様性地域戦略 実施計画支援事業	公益財団法人 日本自然保護協会	2025	朱宮丈晴	令和6年度 事業委託報告書	報告書	非公開	—

令和6年度 綾の照葉樹林プロジェクト関連新聞記事

掲載日	新聞社名	掲載内容
2024. 5. 4	宮日新聞	心潤う若葉の輝き 綾町
2024. 6. 1	宮日新聞	綾の森の観察会 参加者を募集
2024. 7. 18	宮日新聞	ユネスコエコパーク国内登録地 理念実現へ情報交換
2024. 7. 27	宮日新聞	ユネスコ 綾町定期報告書承認 エコパーク10年 継続向け
2024. 7. 27	宮日新聞	環境保全活用を 綾町へ寄付金 イオン九州
2024. 8. 28	宮日新聞	綾ユネスコエコパーク定期報告承認 10年間の取り組み高く評価
2024. 10. 19	宮日新聞	PLACE 綾ユネスコエコパークセンター 国内初専用施設 身近に
2024. 11. 7	宮日新聞	森や田んぼ「楽しい」 留学生が綾の里山散策
2025. 3. 15	宮日新聞	みやざきSDGs ミツバチ保全 餌確保有効 宮大、南九大 綾の研究成果発表
2025. 3. 21	宮日新聞	みやざきSDGs 竹の利活用 文化学ぶ 綾で照葉樹林シンポ



綾の照葉樹林 プロジェクト

発行：令和7年8月

発行者：綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画 連携会議

編集：綾町役場

お問い合わせ先：綾町役場 ユネスコエコパーク推進室（綾ユネスコエコパークセンター内）

〒880-1303 宮崎県東諸県郡綾町大字南俣 442 番地 3

TEL:0985-77-3482 FAX:0985-77-5125 電子メール:aya.BR.2012@town.aya.lg.jp

ホームページ: <https://ayabrcenter.jp/>